

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成24年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	平成25年5月	
平成25年度青森県資源管理基礎調査・浅海定線調査結果報告書	平成26年2月	
未来につなぐ資源管理2014	平成26年3月	青森県と共同発行
平成24年度海洋観測結果表	平成25年7月	
平成24年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成26年2月	
漁海況予報関係事業結果報告書	平成25年7月	
定線観測結果表	平成25年7月	
イカ類漁場開発調査資料第38号及び外洋性イカ（スルメイカ、アカイカ）に関する基礎調査資料	平成25年7月	

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数	備考
ウオダス漁海況速報 No.1802～1837-2	平成25年4月～平成26年3月(36回、号外35回)	
ホタテガイ採苗速報 No.564～582	平成25年4月～平成26年3月(19回)	
ホタテガイ養殖管理情報	平成25年7月～平成25年12月(9回)	
付着生物（ユウレイボヤ等）ラーバ情報	平成25年10月～平成26年3月(12回)	
貝毒情報	平成25年4月～平成26年3月(34回)	
陸奥湾海況情報 No.926～976	平成25年4月～平成26年3月(51回)	
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	平成25年4月～平成26年3月(毎日)	
ヒラメ稚魚分布密度調査結果	平成25年10月(2回)	
平成25年の春季ハタハタ分布調査結果	平成25年9月(1回)	
平成25年漁期（H25年12月～）のハタハタ漁の見通し	平成25年12月(1回)	
ヤリイカ冬季来遊群の2013年漁期の漁況予測結果	平成25年12月(1回)	
陸奥湾湾口部のイカナゴ幼魚（コウナゴ）分布調査について	平成25年6月(1回)	
イカナゴ夏眠場調査について	平成25年10月(1回)	
イカナゴ稚仔分布調査結果	平成26年3月(1回)	

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月	備考
第13号	平成25年7月	
第14号	平成25年12月	
第15号	平成26年2月	

(4) 発表論文等

① 学会等での発表

- 1) 三浦太智：陸奥湾マダラの漁獲動向について．平成25年度東北ブロック底魚研究連絡会議(2014, 3)
- 2) 三浦太智：青森県沿岸におけるハタハタ漁況予測について．日本海ブロック資源評価担当者会議 (2014. 1)
- 3) 伊藤欣吾：青森県におけるムシガレイの漁獲動向．日本海ブロック資源評価担当者会議 (2014. 1)
- 4) 高坂祐樹：Suomi NPP の水温情報の自動処理と実測値との比較．「衛星観測システムの海洋生態系研究及び水産業への利用のための基盤技術に関する研究」の成果報告会，TKP カンファレンスセンター，東京，平成27年3月13日 (2015)
- 5) 清藤真樹：陸奥湾の水温予測について．平成26年度北ブロック水産海洋連絡会，仙台市情報・産業プラザ，平成26年11月19日
- 6) 清藤真樹：環境情報を利用したアカイカ漁業の漁場予測．第43回北日本漁業経済学会大会ミニシンポジウム，青森県水産ビル，平成26年11月22日 (2014)
- 7) 清藤真樹：青森県のアカイカ調査と今後の展開．文部科学省 RECCA 公開シンポジウム「気候変動に伴う海洋環境・水産資源変動予測技術の革新と実用化：日本の海とアカイカのこれから」，八戸市水産ビル，平成27年3月13日 (2014)
- 8) 河野航平・磯田豊・工藤勲・扇田いづみ・吉田達：陸奥湾における逆エスチャリー循環流の季節変化．日本海洋学会秋季大会 (2013, 9)
- 9) 乾元気・吉田達・小谷健二・東野敏及・伊藤直樹・高橋計介・尾定誠：ホタテガイの鰓組織と分泌粘液への栄養状態・高水温の影響．平成25年度日本水産学会秋季大会 (2013. 9)
- 10) Shin-ichi Ito, Masaki Seito, Tooru Yoshida, Kazuhiro Takeuchi, Shigeo Kakehi, Taku Wagawa, Yutaka Isoda and Hiroshi Kawamura: Water temperature forecasts to decrease megadeath of aquacultured scallops in Mutsu Bay, Japan. PICES-2013 (2013. 10)
- 11) 小谷健二：陸奥湾産ホタテガイ2年貝の水温と流速への耐性について．平成25年度青函試験研究交流会議 (ホタテガイ部会) (2013. 12)
- 12) 森恭子：ホタテガイのへい死率を低減する養殖施設の開発．平成25年度青函試験研究交流会議 (ホタテガイ部会) (2013. 12)
- 13) 吉田達：陸奥湾におけるザラボヤ出現状況．平成25年度青函試験研究交流会議 (ホタテガイ部会) (2013. 12)
- 14) 伊藤進一・竹内一浩・笈茂穂・和川拓・清藤真樹・吉田達・高坂祐樹・扇田いづみ・黒田寛・瀬藤聡・磯田豊・川村宏：2010年および2012年夏季の陸奥湾における異常高水温．平成26年度日本海洋学会春季大会 (2014. 3)
- 15) 藤川義一・桐原慎二：本州におけるマコンブの増養殖．平成25年度日本水産工学会春季シンポジウム～北

日本と極東ロシア水域のコンブ生産～，札幌コンベンションセンター，札幌，平成 25 年 5 月 26 日（2013）

- 16) 藤川義一・川越力・桐原慎二：青森県日本海沿岸で養成した褐藻ヨレモクの生長，日本藻類学会第 38 回大会，東邦大学，船橋，平成 26 年 3 月 14 日～16 日（2014）
- 17) 菊谷尚久：低コストなウスメバル種苗の生産技術の開発研究．平成 25 年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議増養殖分科会（2013. 11）
- 18) 菊谷尚久：海峡メバル養殖技術開発試験．平成 25 年度日本海ブロック増養殖研究会（2014, 3）

② その他の投稿

- 1) 今村豊・伊藤欣吾：青森県太平洋北部海域におけるウスメバルの漁獲動向について．東北底魚研究, 33, 2-4. (2014)
- 2) 伊藤欣吾(2013)：青森県日本海海域におけるマガレイの漁獲動向．日本海ブロック資源研究会報告（H23-24 年度）, 81-82（2014）